

学部物理教育での重要な役割。

将来のための教育者としての体験できる。業績として評価される。

高学年の物理学実験（1,3,4Q で各 10~12 名程度）

高学年の演習科目（前後期それぞれ 3-4 名程度）

低学年の学生実験（前期 16 名程度、後期 20 名程度）

低学年の演習科目（前後期それぞれ 14 名程度）

プレゼン科目（前期 2 名程度）

大学からの給与として、1Q あたり修士学生は 5 万円、博士学生は 6 万円支給される。

高学年演習はその倍額が支給される。

TA の 7-8 割は M1 が担当している。

今度は TA として、教える立場で大学を見直してみよう。

年 2 回に分けて募集。物理学系ホームページ「大学院生向けお知らせ掲示板」に掲示する。

前期分は、1 月後半に掲示の予定。

後期分は、6 月後半に掲示の予定。